

---

---

## 編集後記

現在の我国は、少子高齢化、国家財政の未曾有の借金、新興国の隆盛により、先の見えない暗い状態にある。この状況打破のため研究者にできることは二つある。リスクは高いが成功すれば大きなブレイクスルーをもたらす可能性が高い困難な課題に自らが果敢に挑戦することと、将来を託す優れた研究者の育成である。

前者は研究者自身が責務を果たすことに尽きるが、後者のため、若者への「研究の動機付け」はどうすればよいだろうか。若者を育成する研究助成、任期付きポストなど環境整備があるだろう。しかし、お金での解決は本質的ではない。一方、最近、研究成果は、論文数に加えて引用数などでも評価されるようになってきた。しかし、成果で最も評価されるべき要素は、「人を感動させられたか否か」であろう。そして、深い「感動」を与えられるような「研究の素晴らしさ」を若者に示すことが、次世代の研究者に深い「動機付け」を与える最良の解だと思う。これだけ科学技術が発達しても、自然現象や生体には人知の及ばぬことがまだ沢山ある。その中で生体の仕組みの素晴らしさを解き明かす計測・診断の研究も、生体に積極的に働きかける治療の研究も、次世代の研究者に研究への深い「動機付け」を与える。

すなわち、現在の我国の閉塞感を破るために現役研究者にできることは、「努力の末の幸運」と「独自の秘術」を信じ日々試行錯誤を行う地道な努力であり、その成果が、次世代を託す若者にも「深い感動」を与え彼らの育成にも結び付くのである。例えば目標の成果まで辿り着かなくても、その地道な努力の過程（親父の背中）もまた、若者の育成に結び付く、と僅かでも期待できれば、研究者の日頃の努力も報われる。

深い感動を読者に与え得る優れた研究論文が、本学会誌に沢山掲載され、次代を担う優れた若者が一人でも多く巣立つことの一助になれば、編集に携わる者としても大変幸いである。

金井 浩

---

---

超音波医学  
Japanese Journal of  
Medical Ultrasonics

第39巻 第5号（通巻第271号）

© The Japan Society of Ultrasonics in Medicine

—禁転載—

本体価格 2,100円（税込み）（本誌購読料は会費に含まれます。）

平成24年9月15日発行

編集者 (社)日本超音波医学会編集委員会 委員長 上妻 志郎

発行者 (社)日本超音波医学会 理事長 竹中 克

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-23-1

お茶の水センタービル6階

TEL 03-6380-3711

FAX 03-5297-3744

印刷所 大村印刷株式会社